

## 学校評価関係者評価委員会より

- 保育園の運動会への参加について、こがね保育園では、中学生が自発的に動いてくれたことに、保育園職員も感動したし、とても助かった。とても良いことだった。今後とも是非お願いしたい。土曜日に実施しているので、中学生にとっては、部活動と重なる生徒もいたので、その日に部活動がない生徒が参加してくれた。 神瀬保育園の場合は、神瀬保育園卒園の中学生だった。
- 地域とのつながりという点では、体育大会で行った球磨村音頭を地域の方に教えに来ていただいた。また、 神瀬保育園の運動会では、参加した中学生が会場の真ん中で踊るというつながりもできた。
- 小学6年生の児童が中学校の入学式に参加するといった事例を聴いたが、球磨村ではできないのか。検討してほしい。小中連携事業があるので、そのカリキュラムに入れ込んでいったらどうか。
- コミュニティスクールの組織づくりについて、3つぐらいに絞った方が良いのではないか。
- 球磨村は高齢率が高く、40%を超えている。若い人を入れての動きができないだろうか。
- 球磨村の青年団の活躍を見せることも大事ではないだろうか。
- 地域の方との交流の中で心を育んでいくことが大切であると思う。
- 心を育む部会、学びを深める部会、防災を進める部会、というような3つの部会にしていけば良いのでは。
- 「学校を愛し、郷土を愛し、日本人としての自覚を持った生徒」とあるが、日本人としての自覚というのは、古めかしい感じがする。もっとわかりやすい表現はないだろうか。
- 村づくり、子育て～学校が地域の中心であった。東京に出て、こちらに帰ってきて、球磨中の体育大会を見たら、すごく感動した。昔は、村総出でやっていた。体育大会に地域へ呼びかけ多くの人に見てもらおう工夫 をしたらいいのではないか。
- 球磨中の生徒は、真面目でやさしくていい子が多い。それはとてもうれしいことだが、反面、元氣よく自己主張できる生徒にもなってほしい。